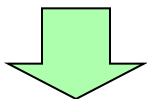


中津川市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年7月～25年3月)

【中心市街地を巡る状況】

- 中山道の宿場町の面影を残す建物や街並みが多く現存。
- 中心市街地の大型店が2店舗から1店舗に。
- 若年世帯の郊外への転出、中心市街地内の店舗がバイパス沿いへ移転するなど典型的な郊外化が進行。

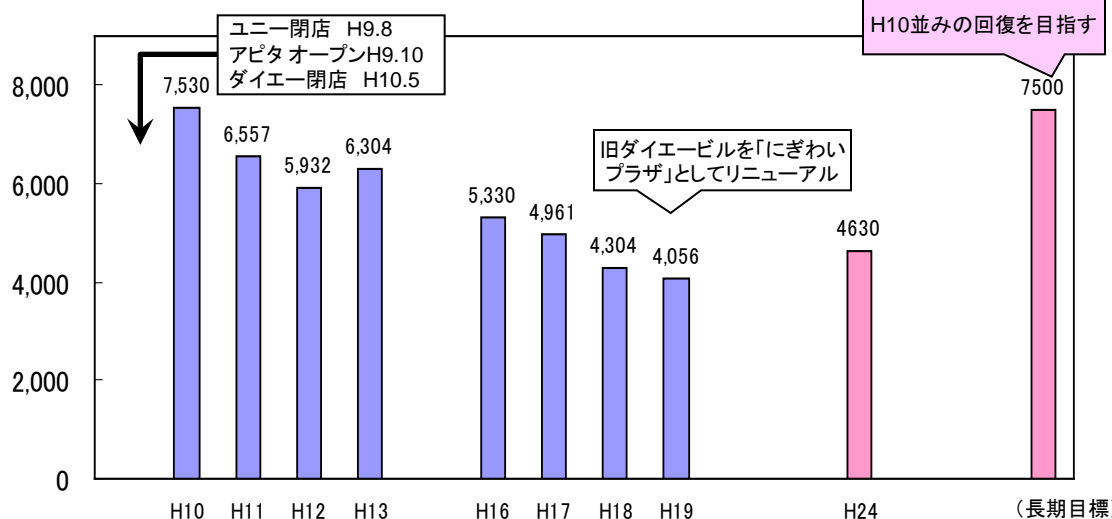


- 中心市街地の人口減少
H10: 3,918人 → H19: 3,310人 (△16%)
- 歩行者通行量(平日)の減少
H10: 7,530人 → H19: 4,056人 (△46%)
- 中心市街地の商店数の減少
H10: 157店舗 → H19: 130店舗 (△17%)

【目標】

| 目標 | 指標 | 現況値 | 目標値(H24) |
|--------------------|-----------------|----------------|----------|
| 自ら誇れるまちの創出 | 観光客入込み数 | 324,300人 (H18) | 360,000人 |
| 快適に暮らすことのできる市街地の形成 | 居住人口 | 3,310人 (H19) | 3,400人 |
| 商業活性化の推進 | 歩行者交通量 (平日・5地点) | 4,056人 (H19) | 4,630人 |
| | 商業店舗数 | 130 (H19) | 135 |

(人/日) 歩行者通行量(平日・5地点)の動向と数値目標



中山道の風情を残す街並みの中、地産地消の原点である江戸時代の朝市の復活や、歴史・文化ストックを有効に活用し環境の整備を図ることにより、東濃東部地域の中心としての求心力を取り戻す。

中津川市中心市街地活性化基本計画の事業概要

快適に暮らすことのできる市街地の形成
～安心で便利に暮らせるまち～

自らが誇れるまちの創出

～豊かな自然と歴史文化がきらりと光るまち～

○「六斎市」の復活

江戸時代、月に六日間開かれ、中津川宿の活気を支えていた六斎市を毎月第1日曜日に復活・定着させる。各商店街の出店や近隣農家による朝市を開催し、地産地消を推進。



○本町中山道地区景観整備事業等

商家など歴史ある街並みが残る本町地区を回遊拠点として景観整備。歴史的価値の高い建築・庭園などを活用し、にぎわいを形成する。



(整備イメージ)



旧中津川村庄屋肥田家

○水辺空間ウォーキングルート整備事業

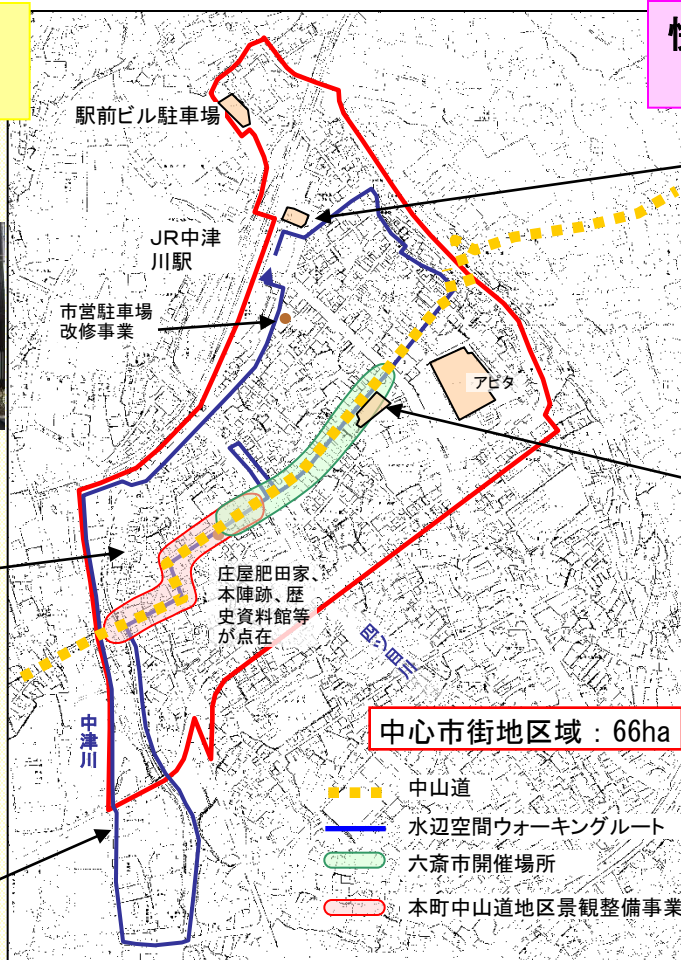
中心市街地を南北に流れる四ツ目川の水辺空間と中山道沿いに点在する歴史・文化資源を結ぶウォーキングルートを設定し、歩いて楽しめるまちを創出。



清流四ツ目川



高札場跡



○にぎわいプラザの利用促進



にぎわいプラザ
(旧ダイエービル)

旧ダイエービルを「にぎわいプラザ」としてリニューアル(H19)。市役所の一部機能、子育て支援施設等を設置。さらにボランティアの交流の場などを提供します。

○中心市街地のほぼ中央に位置し、「まちの顔」として重要な新町ビル跡地の活用策を検討・実践します。

○住宅供給の促進

中心市街地内の民間共同住宅の整備への補助を検討します。

○おもてなし事業



かわい認定試験の様子

地域住民が参加する「中津川かわい認定」や郷土料理の「中津川メニュー開発事業」を通じて地域の魅力づくりを再認識。

商業活性化の推進～元気で活力あふれるまち～

○中心市街地で開催される様々なイベントと商店街が連携し、市民及び観光客の回遊を促進

- ・春、秋の中山道祭り
- ・中津川夏祭り「おいでん祭」
- ・ギオンバジャンポリー
- ・中津川ふるさとじまん祭

等



風流踊り(おいでん祭)の様子

地元飲食・物産展

○空き店舗対策

空き店舗情報の管理やマッチングを行い、空店舗と新規出店希望者を結び付けます。



イタリアンレストランのチャレンジショップ